

令和7年度 第2回上越市社会教育委員・上越市立公民館運営審議会委員会議

次 第

日 時：令和7年8月27日（水）
午前9時30分～10時30分
場 所：上越市教育プラザ3階
大会議室

1 開 会

2 委員長挨拶

3 議 事

(1) 令和8年度社会教育の方針作成について 資料No.1

(2) 社会教育委員による事業評価について 資料No.2

(3) その他

- ・今後の会議等の日程について 資料No.3
- ・上越市二十五歳の成人式の開催結果について（報告） 資料No.4
- ・第54回上越市美術展覧会表彰式・開場式への出席について
- ・第75回新潟県公民館大会への参加について
- ・上社連総会・研修会・情報交換会について（報告）
- ・県社会教育委員等研修会について（報告）

4 その他

5 閉 会

※会議終了後、県社会教育研究大会新発田大会分科会発表内容についての協議を行います。（午前10時30分～12時）

【現状と課題】

- （多様な学習活動の推進・多様な学習機会の充実）
- 市民の価値観の多様化、少子高齢化に伴う人口減少や担い手不足が著しい。また、多様化する人権問題・同和問題など、地域における現代課題に対して、各種団体等と連携・協力しながら解決を図る社会基盤の構築が求められている。
 - 個人の学びの要望に応えるとともに、生涯を通して学び、活躍できる担い手となるよう、地域の魅力ある資源を活用した地域づくり等、社会の要請に基づく学習機会の提供のほか、参加者の固定化及び事業のマンネリ化に対応した取組が必要である。
 - 課題解決のアイデアや気づきとなるような講座を、地域の団体と連携して実施する必要がある。
 - 関係課と連携し、令和8年度からの休日の部活動廃止に向けた部活動の地域移行の取組を進めていく必要がある。
- （家庭・地域・学校が一体となった子どもの健全育成）
- 地域社会の連帯意識の希薄化等により、地域の教育力が低下し、家庭教育を支える仕組みや環境が大きく変化している。
 - 20の地域青少年育成会議では、各地域の状況に応じた活動を行っているが、教員の働き方改革等による学校との関係や事業のあり方に課題が生じている地域もあることから、支援が必要である。また、地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）の高齢化・担い手不足が生じている。
 - 高等学校や社会人となる段階など、若者が自立していく中でつまずきや不適応によって、不登校やひきこもりになる状況が見られる。未来ある若者が社会的に孤立しないよう、自立に向けた途切れのない支援活動を推進する必要がある。
- （施設管理・整備）
- デジタル化の進展に伴い、より一層行政サービスの高度化が求められていることから、引き続き、所管施設の ICT 環境を整えておく必要がある。
 - 公民館は、住民の学びやまちづくり活動を支える拠点となる施設である。また、職員が常駐する地区公民館は、子どもたちの居場所にもなっている。引き続き、住民が学びやすい環境を作っていく必要がある。
 - 公民館など所管する多くの施設は老朽化が進み、多額の経費負担が生じていることから、適切な維持管理や利用実態に合わせた管理の見直しを検討する必要がある。

【目指す姿】

「学びの輪が 人をはぐくみ 地域をつなぐ」

【社会教育課の取組方向（重視する視点）】

【取組方向①】

多様な学習活動の推進
多様な学習機会の充実

- 多様な学習ニーズに対応するため、地域の資源や人材、NPO等の民間団体の取組と連携し、主体的な学びのきっかけとなる学習機会の提供や学ぶ環境の充実を図る。
- 参加者同士が学び合い、互いに高め合えるよう支援するとともに、市民に学びの輪が広まり学習の成果が幅広くいかされるよう、学びが循環する地域づくりを推進する。
- 文化部活動の地域移行の取組を通じて、子どもと地域の文化・生涯学習団体が共に活動する環境づくりを推進する。
- 一人一人が大切にされる社会となるよう、人権教育、同和教育を推進する。

【取組方向②】

家庭・地域・学校が一体となった子どもの健全育成

- 家庭・地域・学校が一体となって子どもの健全育成を推進し、郷土愛の醸成を図る。
- 地域青少年育成会議や地域団体の活動を支援するとともに、持続可能な青少年教育活動体制を整えるため、公民館等と連携する仕組みづくりを進める。
- 地域学校協働活動推進員の取組を周知するなど、「地域の子どもは地域で育てる」意識の醸成を図るとともに担い手の確保に努める。
- 義務教育終了後に困難を抱える若者の自立に向けた支援を進め、若者の居場所「Fit」の活用を中核とした若者及び保護者への支援の充実を図る。

【取組方向③】

施設管理・整備

- 住民の身近な学びの場、子どもの居場所としての環境を維持するとともに、ICT環境の整備を継続する。
- 施設の実態や利用状況を踏まえ、維持管理や計画的な整備を進め、学ぶ環境の充実を図る。
- 公の施設の適正配置計画に基づく取組を進める。

【令和7年度の重点事業】

多様な学習活動の推進・多様な学習機会の充実

【事業内容】

- 人権教育、同和教育の推進
 - ・人権意識を高めるための学習機会の充実
 - 郷土を愛する心の育成
 - ・ふるさと上越の豊富な地域資源や人材を活用した謙信 KIDS プロジェクトの実施
 - 未来をひらく人づくり
 - ・地域の多様な文化芸術団体と連携した休日の活動の展開や地域クラブフェアの開催など、文化部活動の地域移行の取組推進と生涯学習活動の活性化
 - 地域・現代課題に対応する取組の推進
 - ・各地区公民館において、地域の課題解決の気づきとなるような講座を地域と連携して実施
 - 市民の主体的な学びの意欲・関心が高まるよう、公民館での多様な取組を通じた、人づくり、地域づくりの推進
- ＜第7次総合計画・第3次総合教育プラン＞
- 3-1-1 人権・多様性の尊重、5-3-1-1 多様な学習機会の充実、5-3-1-2 多様な学習活動の推進
- プラン3 多様な学びの推進 プラン6 人権・多様性の尊重

家庭・地域・学校が一体となった子どもの健全育成

【事業内容】

- 家庭・地域の教育力向上
 - ・各地区公民館において家庭教育支援講座や親子活動講座等を実施
 - 青少年の育成支援活動の推進
 - ・地域青少年育成会議の訪問を通じた各地域の状況把握と課題に応じた支援
 - ・地域青少年育成会議と公民館との事業連携の推進
 - ・市ホームページ等の SNS や広報紙等を通じた地域青少年育成会議や地域学校協働活動推進員の活動周知
 - 若者育成支援の取組の充実
 - ・若者の居場所「Fit」の周知と個に応じた支援の充実
 - ・「上越市親の会」の開催による保護者支援の充実
 - ・関係機関・団体と連携した支援の推進
- ＜第7次総合計画・第3次総合教育プラン＞
- 5-2-2-1 全ての子どもの学びの保障、5-3-1-1 多様な学習機会の充実、5-3-1-2 多様な学習活動の推進
- プラン3 多様な学びの推進

施設管理・整備

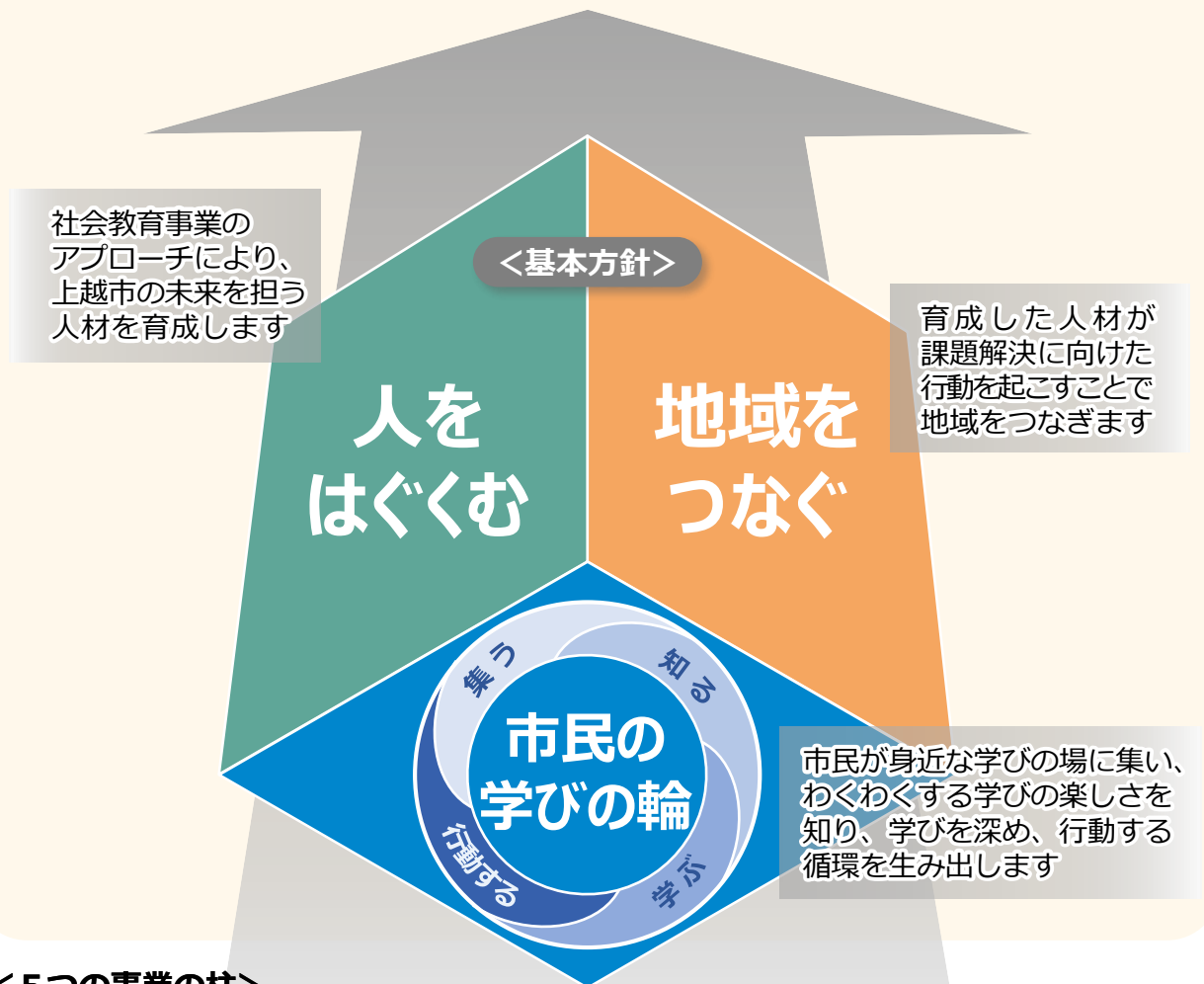
【事業内容】

- 施設の適正管理
 - ・社会教育活動の質の向上や、施設の利便性の向上のため、所管施設のインターネット環境を整備
 - ・利用者が安全に安心して利用できる適切な施設の維持管理運営の実施
 - ・上越科学館のより良い企画・展示の実施と管理運営
 - 施設の適正配置の取組推進
 - ・耐震規準を満たしておらず、老朽化が著しい諏訪地区公民館を廃校となる諏訪小学校内に移転整備
 - ・公の施設の適正配置計画により整理が必要な施設について、将来を見据えた協議の実施
- ＜第7次総合計画・第3次総合教育プラン＞
- 5-3-1-1 多様な学習機会の充実、5-3-1 多様な学びの推進
- プラン3 多様な学びの推進

上越市の社会教育事業の「学びのグランドデザイン」

<目指す姿>

学びの輪が 人をはぐくみ 地域をつなぐ



<5つの事業の柱>

社会教育事業を5つの視点で取り組むことにより、市民の自己実現の達成や地域課題等の解決に向けたきっかけづくりなど、主体的な学びを実践するための下支えを進めていきます

1

学びのきっかけづくり

2

未来をひらく人づくり

3

人をはぐくむ 家庭環境づくり

4

踏まえた地域づくり 地域や社会の課題を

5

行動する人への支援

<令和7年度 事業分類>

青少年(0～18歳)期 6歳 12歳		成人期	高齢期
1 学びのきっかけづくり (4事業)		誰もが生涯にわたって学ぶことができる機会を提供し、主体的な学びへの意欲を高め、交流の輪を広げる	
生涯学習情報の提供		趣味・教養講座	
体育・レクリエーション講座		出前講座	
2 未来をひらく人づくり (7事業)		地域での学びや地域との関わりを通じて、主体的に学ぶことの楽しさや喜びを知り、子どもたちのチャレンジ精神とふるさとへの愛着を育てる	
青少年教育活動事業		部活動の地域展開（生涯学習の推進）	
夏休み☆子どもつどいのひろば		学び愛フェスタ（生涯学習の推進）	
こうみんかんキッズフェスタ		3 人をはぐくむ家庭環境づくり (5事業)	
謙信KIDSプロジェクト		家庭・学校、地域が連携し、ともに学び、子どものすこやかな育ちを支える	
上越科学館 新展示物		家庭教育支援講座、親子活動講座	
部活動の地域展開（生涯学習の推進）		地域学校協働活動推進員の活動（育成会議支援）	
学び愛フェスタ（生涯学習の推進）		上越市小中学校 PTA連絡協議会支援	
3 人をはぐくむ家庭環境づくり (5事業)		子ども交流活動支援	
地域学校協働活動推進員の活動（育成会議支援）		二十歳を祝うつどい（18歳はがき・R2代替行事）	
上越市小中学校 PTA連絡協議会支援		4 地域や社会の課題を踏まえた地域づくり (6事業)	
子ども交流活動支援		地域課題や現代課題を学び、課題解決に向けた意識を高めることにより、豊かな地域社会づくりにつなげる	
4 地域や社会の課題を踏まえた地域づくり (6事業)		小・中学生学習会	
小・中学生学習会		社会同和教育・人権教育	
街頭指導、特別街頭指導の実施		若者の居場所「Fit」の運営を通じた義務教育終了後の支援と支援ネットワークの構築	
地域・現代課題講座		ふるさと未来づくり事業	
ふるさと未来づくり事業		5 行動する人への支援 (5事業※再掲1)	
5 行動する人への支援 (5事業※再掲1)		芸術・文化に親しむ場の提供や、意欲を持って行動する人・団体を支援することにより、持続可能な活動と未来への学びの輪をつなげる	
(再掲)ふるさと未来づくり事業		(再掲)ふるさと未来づくり事業	
分館事業、ボランティア活動、団体・サークルや地域活動への支援、生涯学習フェスティバル		市展、県展の開催	
市展、県展の開催		市民芸能祭の開催	
市民芸能祭の開催		後援、共催による事業支援	
後援、共催による事業支援			

令和 7 年度 社会教育委員による事業訪問について

1 実施目的

社会教育課で実施する社会教育事業について、社会教育委員・公民館運営審議会委員から参加してもらい、事業に対する意見や提案を寄せていただく。寄せられた意見等を今後の事業計画や運営に反映させるなどして、より充実した社会教育事業の展開を図る。

2 対象事業

- ・各種公民館事業、社会教育事業（市展、生涯学習フェスティバル、謙信 KIDS プロジェクトなど）対象事業を限定しない。

3 事業訪問の流れ

- ① 【社会教育課】各種公民館事業、社会教育事業の日程等を定期的に郵送する配布物と合わせてお知らせするほか、市ホームページ等で情報収集いただけるよう準備を進める。
- ② 【委員】各自興味のある分野の公民館事業や社会教育事業の日程を確認し、事業実施日の1週間前までに、訪問事業を社会教育係へ連絡する。（メール、電話、Fax）
- ③ 【委員】事業訪問を実施。（社会教育委員の名札着用）
- ④ 【委員】裏面「令和 7 年度社会教育委員による事業訪問 意見等報告シート」により、意見・提案を事業訪問参加後 1 ヶ月以内を目安に市へメール・Fax・郵送・持参のいずれかの方法で報告する。
- ⑤ 【市】いただいた意見・提案を今後の事業計画や運営に反映できるよう検討する。

4 その他

- ・参加を強制としない。
- ・裏面「令和 7 年度社会教育委員による事業訪問 意見等報告シート」の提出を受けて、自宅から事業開催会場までの距離に応じた交通費（22 円/km）を口座振込で支給します。
- ・市民として申込・参加した場合も、意見・提案等ありましたら、任意の様式で報告をお願いします。（交通費の支給なし）

令和7年度 社会教育委員による事業訪問 意見等報告シート

事業名		講座名	
開催日		委員名	

No.	項目	評価 (※)	意見・提案
1	目的に対して、活動内容は適切であるか		
2	講座全体の雰囲気		
3	参加者の様子、取り組む姿勢 (受講中の表情など)		
4	全体を通しての感想及び意見（自由記述欄）		

※ 評価 (◎：とてもよい ○：おおむねよい △：改善する点がある ×：改善すべき)

- お手数ですが、記入後社会教育係へシートを提出ください。(メール、FAX、郵送、持参のいずれかの方法をお願いします。)
- コメントは、該当欄に収まる程度の量で結構です。

【提出先】

〒942-8563
 上越市下門前1770 教育プラザ内
 上越市教育委員会社会教育課 社会教育係
 電話：545-9245、FAX：545-9272
 メール：shakaikyoku@city.joetsu.lg.jp

令和7年度 社会教育委員による事業評価

資料No.2-2

	事業名	ねらい	開催日時	開催場所	活動内容	参加者数	社会教育委員による事業評価 ※評 価(◎:とてもよい ○:おおむねよい △:改善する点がある ×:改善すべき)							今後の対応など
							目的に対して、活動内容は適切であるか		講座全体の雰囲気		参加者の様子、取り組み姿勢		全体を通しての感想及び意見(自由記述欄)	
							評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	コメント	
1	絵画 & 現代アート教室 【中郷地区公民館事業】	絵画の基本及び現代アートを学び、創作活動の意欲や情緒豊かな心を醸成し、仲間づくり、世代間の交流を広げる学習機会とする。	R7.6.21(土)	は一とびあ中郷	絵画の基礎実践としてデッサンに力をいれ、観察力、描写力を高めるとともに、現代アートの作品を仕上げ、文化祭で作品の展示を行い学習発表会とする。	6	○		○		○		・第1回目の参加者は大人2名、子ども2名だった。初めて参加するという男性にも講師は丁寧に分かり易く説明していた。子どもは前年度も参加していたということで、慣れた様子だった。 ・講師の参加者一人一人への対応は、個々の良いところを認め、褒めて、やる気を応援するやり方で、とても 好感が持てた。 ・「会場の創作室が空いている時は、この教室の無い時でも、描きに来てもいいですよ」というやり方は、参加者 にとっては、いいことだと思う。 ・実際の参加者はさらに大人3名の経験者がいるという話だった。全員がそろった際にも、参加者全員で気楽にできればいいと願う。	参加者の絵画、現代アートの研鑽、技術の向上はもちろんであるが、子どもが絵画を通じて大人とふれあい、交流が盛んになることを期待したい。
2	ゆかたで七夕パーティー 【頸城地区公民館事業】	頸城区は外国人市民が多く就労・居住していることから、地元住民との交流の場および互いの文化を知り、理解を深めることで豊かな地域社会づくりにつなげる。	R7.6.29(日)	頸城地区公民館 南川分館	下記体験活動を通して、参加者同士の交流を図る。 ・地域で活動する団体から浴衣を着付けてもらう。 ・七夕の習慣を知ってもらう(たなばたさまを歌い、笹飾りをつくる)。 ・フィリピンのかき氷ハロハロを作り食べる。 ・日本の遊び(けん玉、めんこ、だるま落とし等)や世界の遊び(フィリピンのSIPA等)を体験する。	51	◎		○		○		・少子高齢化の進む中での労働力不足を補うためには海外からの若者から支えてもらう以外に策はない。その状況は、地域地元住民と外国籍住民との問題を生んでいる。本講座は、そのような問題解決には必要不可欠な第一歩である。多様な異文化の交流と理解の進む地域づくりはとても重要である。 ・今回地元住民や子どもの参加が少なく残念だった。裏返すと地元住民の理解促進がさらに必要ということであろう。 ・1回で終わらず、交流の場提供を継続してほしい。	多文化共生事業として外国人市民と地元住民が楽しみながら交流できる場や互いを理解し、認め合えるようなきっかけづくりを公民館事業を通して今後も提供していく。なお、今年度はこのほかに「クリスマス」もしくは「餅つき」をテーマに事業を実施する予定である。 また、地元住民の参加者確保に当たっては、引き続きチラシ配布やホームページへの掲載など各種媒体を用いて呼びかけるほか、参加者の口コミによる広がりを期待し、事業内容の充実を図っていきたい。
3	よしかわ楽習塾「上越の宝めぐり」 【吉川地区公民館事業】	テーマ「学びにチャレンジ」暮らしに役立つ知識や郷土の多様な歴史・文化・自然を学びます。	R7.7.21(月・祝)	毘沙門堂・滝寺不動尊・飯観音堂館・岩屋堂観音堂・いわおの石仏群	毘沙門天立像の緑や上杉謙信公の出陣旗「毘」との関係、地域の祭礼と信仰や越後三十三ヶ所観音霊場の第一番礼所などの説明を受け、「地域の身近な宝」を再発見すると同時に魅力をを知った。	21	◎	・歴史に関心がある市民が多いので、学びのきっかけづくりとして、市内の各地の歴史的な宝を巡ることは良い機会と思われる。 ・1日通してまた連続講座で参加者が交流を深めることができる。	◎	・市内の各地の史跡を守る方たちの話は、地域の宝を大切にしてきた先人たちの思いをつなげていこうという気概を感じた。 また、、その思いを参加者も理解しているのもよい雰囲気だった。	○	・各所でお話してくださる講師の話熱心に聞きメモしたり質問したりしていた。参加者同士でお宝について話す姿も見られた。 ・昼食時にも交流が深められていた。	・今回の4つ巡ったお宝のうち、3つが上越市「地域の宝」の認定のものであった。上越市内の各地で、そこに住む地域の人々が大切にしている宝を巡ることができた。普段通ったことがあるところでも、案内してもらわないと個人的に行っても中を見ることができないところばかりだったので良い機会と感じた。 ・参加者はほとんどが吉川区内だが、高田からの参加の方もいた。内容が自分に興味があれば、高田から吉川まで来てバスで自宅に近いところまで行ってまた吉川に戻り、またそこから自宅に帰っていくことをする方もいるのだと感じた。近いところに住んでいても、その地域の住民でない観ることが難しいからと思われた。	身近にあるのに気づかない”たからもの”探訪事業「よしかわ楽習塾」を通して、地域住民の「まなび」を深めたり、参加者同士の交流を図るため、今後も講座を継続する。

令和7年度

上越市社会教育委員・上越市立公民館運営審議会委員に関する会議等日程一覧

○現段階での予定になります。

○社会教育委員の皆様へは、その都度ご案内させていただきます。

期 日	会 議 等 名	会 場 等
【済】 4月23日(水) 9:30～11:45	第1回社会教育委員・公民館運営審議会 委員会議	金谷地区公民館
【済】 6月13日(金) 14:30～17:00	【上社連】 上越地区社会教育委員連絡協議会総会 研修会（終了後、情報交換会有）	直江津学びの交流館
【済】 6月30日(月) 13:00～16:15	【県社連】 新潟県社会教育委員連絡協議会 社会教育委員等研修会	新潟市黒崎市民会館
8月27日(水) 9:30～10:30	第2回社会教育委員・公民館運営審議会 委員会議	上越市教育プラザ
9月3日(水) 14:00～16:30	社会同和教育市町村巡回研修会	上越文化会館
9月26日(金) 13:00～16:30	第75回新潟県公民館大会	刈羽村生涯学習センター
10月8日(水) 13:00～16:30	【県社連】 分科会発表 新潟県社会教育研究大会新発田大会	新発田市生涯学習センター
10月下旬予定	【上社連】 生涯学習現地研修会	妙高市
2月中旬予定	第3回社会教育委員・公民館運営審議会 委員会議	上越市教育プラザ

<関連事業等>

- ・10月29日(水)～31日(金) 全国社会教育研究大会
開催場所：岩手県盛岡市（交通費・宿泊費自己負担）
- ・11月20日(木)・21日(金) 関東甲信越静社会教育研究大会
開催場所：神奈川県横浜市（交通費・宿泊費自己負担）

【上社連】・・・上越地区社会教育委員連絡協議会

【県社連】・・・新潟県社会教育委員連絡協議会

上越市二十五歳の成人式（令和2年度代替行事）の開催結果について

【開催結果】

新型コロナウイルス感染症の影響により中止した成人式の代替行事を開催した。

- ・日 時 令和7年8月16日(土) 午後4時～5時
- ・会 場 上越文化会館 大ホール
- ・出席者 下表のとおり

対象者	出席者	出席率
1,657人	367人	22.1%

＜参考＞二十歳を祝うつどい（4月開催）

年度	対象者	出席者	出席率
R7	1,870人	1,369人	73.2%
R6	1,855人	1,348人	72.7%
R5	1,765人	1,184人	67.1%

- ・内 容
 - ▶ 第1部 式典（主なもの）
 - ・市長激励のことは、市議会議長お祝いのことは
 - ・代表スピーチ（参加者代表3人）
 - ▶ 第2部 記念行事
 - ・中学校恩師からのメッセージ上映
 - ・抽選会（景品：企業協賛品、メイド・イン上越特産品等）
 - ※参加者代表2名が第1部及び第2部の司会・進行
 - ※上越商工会議所青年部のロックバンド「ぷつつん Ojisan（おじさん）」から、式典開始前に楽曲演奏、第2部の一部を司会・進行

（参加者の声）

- ・成人式が中止となった際は諦めの気持ちだったが、改めて開催していただき、とても嬉しく感謝している。
- ・記念行事では会場にいる仲間が一体となり、盛り上がりながら楽しむことができた。また、楽しんでいる仲間の姿を見てとても嬉しかった。
- ・久しぶりに地元に戻って友人と会い、故郷での安心や温かさを感じることができた。また、用意されていたフォトスポットで友人と一緒に記念撮影ができてよかった。

＜参考＞上越市二十五歳の成人式の開催目的について

新型コロナウイルス感染症の影響により、中止した成人式の対象者が参集する機会を提供し、改めて祝意を示すとともに、旧友との再会や式典への参加を通して、生まれ育った郷土への思いを深める契機とするもの